



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

諫早湾水質自動観測データ管理他業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務					
業務別業務名	諫早湾水質自動観測データ管理業務【設計作業】					
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	*** S単 - 1号 *** 技術員 技術員		人	36,700		歩A・単A
S02116	*** S単 - 2号 *** 濁度 JIS K 0101 (1998)9.4.,		検体	680		歩A・単A
S02116	*** S単 - 3号 *** 浮遊物質量 (SS) 浮遊物質量 (SS) 環境庁告示第59号付表9.,		検体	1,890		歩A・単A
S02116	*** S単 - 4号 *** 溶存酸素量 (DO) 溶存酸素量 (DO) JIS K0102.32.1.,		検体	1,890		歩A・単A
S02116	*** S単 - 5号 *** クロロフィルa (Chl-a) クロロフィルa (Chl-a) 海洋観測指針(蛍光法),		検体	5,890		歩A・単A
S02116	*** S単 - 6号 *** フェオ色素 フェオ色素 海洋観測指針(蛍光法),		検体	4,530		歩A・単A
S02116	*** S単 - 7号 *** 植物プランクトン解析 植物プランクトン解析 同定・計数,		検体	23,700		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** 自動昇降装置の測定値のチェック 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,12.00人		式	991,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** 自動昇降装置の測定値の相関関係整理及び換算 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,4.80人,6.00人,24.00人		式	1,372,440		歩A・単A
S63003	*** S単 - 10号 *** 換算値による水質変化の状況整理 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,12.00人		式	991,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 11号 *** 気象観測データ整理 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,6.00人		式	439,500		歩A・単A
S63003	*** S単 - 12号 *** 報告書作成 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,4.00人		式	724,200		歩A・単A
S63010	*** S単 - 13号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	133,500		歩A・単A
S63010	*** S単 - 14号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	111,900		歩A・単A
S63011	*** S単 - 15号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,0.50日,0.50日,通勤により打合せ, ライトバン,1日,4時間		回	10,658		歩A・単A
S63011	*** S単 - 16号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,0.50日,0.50日,通勤により打合せ,ライトバン, 1日,4時間		回	10,658		歩A・単A
S63023	*** S単 - 17号 *** 電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1,A-4,500,8cm,0		式	7,445		歩A・単A
T00001	*** T単 - 1号 *** 開示用成果物作成費		式	18,397		歩A・単A

事業名	国営干拓環境対策調査				
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務				

業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【設計作業】

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S02115	技術員 技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人	36,700	36,700	
	合計				36,700	算出数量 1,000 人
	単価				36,700	
*** S単 - 2号 ***						
S02116	濁度		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	濁度 JIS K 0101 (1998)9.4.1			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード) P96004		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96004	濁度 JIS K 0101 (1998)9.4	1.000	検体	680	680	
	合計				680	算出数量 1,000 各単位
	単価				680	
*** S単 - 3号 ***						
S02116	浮遊物質量(SS)		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	浮遊物質量(SS) 環境庁告示第59号付表9.1			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード) P96002		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96002	浮遊物質量(SS) 環境庁告示第59号付表9	1.000	検体	1,890	1,890	
	合計				1,890	算出数量 1,000 各単位
	単価				1,890	
*** S単 - 4号 ***						
S02116	溶存酸素量(DO)		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	溶存酸素量(DO) JIS K0102.32.1.1			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード) P96001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96001	溶存酸素量(DO) JIS K0102.32.1	1.000	検体	1,890	1,890	
	合計				1,890	算出数量 1,000 各単位
	単価				1,890	
*** S単 - 5号 ***						
S02116	クロロフィルa(Chl-a)		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	クロロフィルa(Chl-a) 海洋観測指針(蛍光法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード) P96005		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96005	クロロフィルa(Chl-a) 海洋観測指針(蛍光法)	1.000	検体	5,890	5,890	
	合計				5,890	算出数量 1,000 各単位

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務					
業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【設計作業】						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価				5,890	
	*** S単 - 6号 ***					
S02116	フェオ色素		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	フェオ色素 海洋観測指針(蛍光法),, 1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			地域資材(Pコード) P96006 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96006	フェオ色素 海洋観測指針(蛍光法)	1.000	検体	4,530	4,530	
	合 計				4,530	算出数量 1,000 各単位
	単 価				4,530	
	*** S単 - 7号 ***					
S02116	植物プランクトン解析		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	植物プランクトン解析 同定・計数,, 1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			地域資材(Pコード) P96003 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96003	植物プランクトン解析 同定・計数	1.000	検体	23,700	23,700	
	合 計				23,700	算出数量 1,000 各単位
	単 価				23,700	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	自動昇降装置の測定値のチェック		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,12.00人 1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師(B)	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師(C)	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	12.000	人	36,700	440,400	
	合 計				991,200	算出数量 1,000 式
	単 価		式		991,200	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	自動昇降装置の測定値の相関関係整理及び換算		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,4.80人,6.00人,24.00人 1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師(B)	4.800	人	49,300	236,640	
R04006	技師(C)	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	24.000	人	36,700	880,800	

事業名		国営干拓環境対策調査				
業務名		諫早湾水質自動観測データ管理他業務				
業務別業務名		諫早湾水質自動観測データ管理業務【設計作業】				
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				1,372,440	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,372,440	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	換算値による水質変化の状況整理		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,12.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	12.00人				
R04005	技師(B)	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師(C)	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	12.000	人	36,700	440,400	
	合計				991,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		991,200	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	気象観測データ整理		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,4.00人,6.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04005	技師(B)	1.000	人	49,300	49,300	
R04006	技師(C)	4.000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員	6.000	人	36,700	220,200	
	合計				439,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		439,500	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,4.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04004	技師(A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師(B)	4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師(C)	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	4.000	人	36,700	146,800	
	合計				724,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		724,200	

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務					
業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【設計作業】						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 13号 ***						
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種・着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)					
		1.000	人	62,600	62,600	
	合計				133,500	算出数量 1.000 回
	単価		回		133,500	
*** S単 - 14号 ***						
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種・中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04004	技師(A)					
		1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師(B)					
		1.000	人	49,300	49,300	
	合計				111,900	算出数量 1.000 回
	単価		回		111,900	
*** S単 - 15号 ***						
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,0.50日,0.50日,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金(税別)	7,110円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	7,110	7,110	
M28121	ライトバン[ガソリン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	147	1,588	
	合計				10,658	算出数量 1.000 回

事業名	国営干拓環境対策調査
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務

業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【設計作業】

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		回		10,658	
	*** S単 - 16号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,0.50日,0.50日,通勤により打合せ, ライトバン,1日,4時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				深夜時間:0.0
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金(税別)	7,110円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	7,110	7,110	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン					
	JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	147	1,588	
	合 計				10,658	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,658	
	*** S単 - 17号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1. A - 4,500,8cm,0					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	1)報告書部数(部)	1.000				
	2)規格区分	A - 4				
	3)枚数区分(枚)	500				
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代(コピー)					
	A - 4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43543	簡易加除式ファイル					
	A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	695	695	
P43602	CD-R					
	CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				7,445	算出数量 1.000 式
	単 価		式		7,445	

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務					
業務別業務名	諫早湾水質自動観測データ管理業務【現地調査】					
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02111	*** S単 - 1号 *** 交通船[FRP製] 交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT		日	3,210		歩A・単A
S02111	*** S単 - 2号 *** 交通船[FRP製] 交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT		日	3,360		歩A・単A
S02111	*** S単 - 3号 *** 交通船[鋼製] 交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT		日	2,520		歩A・単A
S02111	*** S単 - 4号 *** 交通船[鋼製] 交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT		日	2,590		歩A・単A
S02111	*** S単 - 5号 *** 多項目水質計 多項目水質計 光子なし(海域)		日	36,100		歩A・単A
S02111	*** S単 - 6号 *** 多項目水質計 多項目水質計 光子なし(調整池)		日	36,100		歩A・単A
S02111	*** S単 - 7号 *** 採水器 採水器 バンドーン型(海域)		日	1,390		歩A・単A
S02111	*** S単 - 8号 *** 採水器 採水器 バンドーン型(調整池)		日	1,060		歩A・単A
S02111	*** S単 - 9号 *** ライトン[ガソリン]二輪駆動 ライトン[ガソリン]二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 2時間		日	1,650		歩A・単A
S02111	*** S単 - 10号 *** ライトン[ガソリン]二輪駆動 ライトン[ガソリン]二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 1時間		日	1,450		歩A・単A
S02111	*** S単 - 11号 *** ライトン[ガソリン]二輪駆動 ライトン[ガソリン]二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 4時間		日	1,960		歩A・単A
S02115	*** S単 - 12号 *** 測量技師 測量技師		人	52,700		歩A・単A
S02115	*** S単 - 13号 *** 測量技師補 測量技師補		人	41,300		歩A・単A
S02115	*** S単 - 14号 *** 高級船員 高級船員		人	34,800		歩A・単A
S02116	*** S単 - 15号 *** 高速道路等料金 高速道路等料金 消費税抜き 福岡(千代IC)～諫早IC,,		往復	7,110		歩A・単A
S02116	*** S単 - 16号 *** 気象観測装置の保守点検 気象観測装置の保守点検		式	1,750,000		歩A・単A
S02116	*** S単 - 17号 *** 水質観測施設の保守点検 水質観測施設の保守点検		式	13,910,000		歩A・単A
S63005	*** S単 - 18号 *** 計画準備 測量労務(直接人件費内業) 2.00人,3.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	404,000		歩A・単A
S63008	*** S単 - 19号 *** 移動に伴う基準日額 測量労務(直接人件費外業) 0.00人,12.00人,24.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	1,623,600		歩A・単A
X63002	*** X単 - 1号 *** 精度管理費集計 精度管理費集計		式	0		歩A・単A

事業名	国営干拓環境対策調査
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務

業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【現地調査】

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S02111	交通船[FRP製]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M30121		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	D 70PS型 3.0GT		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	3,210円		深夜時間:0.0		
M30121	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT	1.000	日	3,210	3,210	
	合計				3,210	算出数量 1.000 各単位
	単価				3,210	
*** S単 - 2号 ***						
S02111	交通船[FRP製]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M30121		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	D 70PS型 3.0GT		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	3,360円		深夜時間:0.0		
M30121	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT	1.000	日	3,360	3,360	
	合計				3,360	算出数量 1.000 各単位
	単価				3,360	
*** S単 - 3号 ***						
S02111	交通船[鋼製]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M30101		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	D 30PS型 3.0GT		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	2,520円		深夜時間:0.0		
M30101	交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT	1.000	日	2,520	2,520	
	合計				2,520	算出数量 1.000 各単位
	単価				2,520	
*** S単 - 4号 ***						
S02111	交通船[鋼製]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M30101		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	D 30PS型 3.0GT		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	2,590円		深夜時間:0.0		
M30101	交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT	1.000	日	2,590	2,590	
	合計				2,590	算出数量 1.000 各単位
	単価				2,590	
*** S単 - 5号 ***						
S02111	多項目水質計		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	多項目水質計 光子なし(海域)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M96001		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	光子なし(海域)		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	36,100円		深夜時間:0.0		
M96001	多項目水質計 光子なし(海域)	1.000	日	36,100	36,100	
	合計				36,100	算出数量 1.000 各単位

事業名	国管干拓環境対策調査
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務

業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【現地調査】

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価				36,100	
	*** S単 - 6号 ***					
S02111	多項目水質計		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	多項目水質計 光量子なし(調整池)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)機械器具損料コード	M96003				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)機械器具規格	光量子なし(調整池)				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)単価の入力	36,100円				深夜時間:0.0
M96003	多項目水質計 光量子なし(調整池)	1.000	日	36,100	36,100	
	合 計				36,100	算出数量 1.000 各単位
	単 価				36,100	
	*** S単 - 7号 ***					
S02111	採水器		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	採水器 バンドーン型(海域)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)機械器具損料コード	M96002				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)機械器具規格	バンドーン型(海域)				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)単価の入力	1,390円				深夜時間:0.0
M96002	採水器 バンドーン型(海域)	1.000	日	1,390	1,390	
	合 計				1,390	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,390	
	*** S単 - 8号 ***					
S02111	採水器		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	採水器 バンドーン型(調整池)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)機械器具損料コード	M96004				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)機械器具規格	バンドーン型(調整池)				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)単価の入力	1,060円				深夜時間:0.0
M96004	採水器 バンドーン型(調整池)	1.000	日	1,060	1,060	
	合 計				1,060	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,060	
	*** S単 - 9号 ***					
S02111	ライトバイクエンジン二輪駆動		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ライトバイクエンジン二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 2時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)機械器具損料コード	M96021				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)機械器具規格	乗車定員5名 排気量1.5L 2時間				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)単価の入力	1,650円				深夜時間:0.0
M96021	ライトバイクエンジン二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 2時間	1.000	日	1,650	1,650	
	合 計				1,650	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,650	
	*** S単 - 10号 ***					
S02111	ライトバイクエンジン二輪駆動		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ライトバイクエンジン二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 1時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)機械器具損料コード	M96021				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)機械器具規格	乗車定員5名 排気量1.5L 1時間				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)単価の入力	1,450円				深夜時間:0.0

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務					
業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【現地調査】						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
M96021	バイクン[ガリエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L 1時間	1.000	日	1,450	1,450	
	合計				1,450	算出数量 1.000 各単位
	単価			1,450		
	*** S単 - 11号 ***					
S02111	バイクン[ガリエンジン二輪駆動]		日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	バイクン[ガリエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L 4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格 3)単価の入力	M96022 乗車定員5名 排気量1.5L 4時間 1,960円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
M96022	バイクン[ガリエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L 4時間	1.000	日	1,960	1,960	
	合計				1,960	算出数量 1.000 各単位
	単価			1,960		
	*** S単 - 12号 ***					
S02115	測量技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04023 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04023	測量技師	1.000	人	52,700	52,700	
	合計				52,700	算出数量 1.000 人
	単価			52,700		
	*** S単 - 13号 ***					
S02115	測量技師補		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量技師補			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04024 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04024	測量技師補	1.000	人	41,300	41,300	
	合計				41,300	算出数量 1.000 人
	単価			41,300		
	*** S単 - 14号 ***					
S02115	高級船員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	高級船員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01072 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R01072	高級船員	1.000	人	34,800	34,800	
	合計				34,800	算出数量 1.000 人
	単価			34,800		
	*** S単 - 15号 ***					
S02116	高速道路等料金		往復		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	高速道路等料金 消費税抜き 福岡(千代IC)~諫早IC			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名		国営干拓環境対策調査				
業務名		諫早湾水質自動観測データ管理他業務				
業務別業務名		諫早湾水質自動観測データ管理業務【現地調査】				
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード) P96001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96001	高速道路等料金 消費税抜き 福岡(千代IC)~諫早IC	1.000	往復	7,110	7,110	
	合計				7,110	算出数量 1.000 各単位
	単価				7,110	
	*** S単 - 16号 ***					
S02116	気象観測装置の保守点検		式		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	気象観測装置の保守点検			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード) P96005		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96005	気象観測装置の保守点検	1.000	式	1,750,000	1,750,000	
	合計				1,750,000	算出数量 1.000 各単位
	単価				1,750,000	
	*** S単 - 17号 ***					
S02116	水質観測施設の保守点検		式		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	水質観測施設の保守点検			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P) 3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)	地域資材(Pコード) P96002		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96002	水質観測施設の保守点検	1.000	式	13,910,000	13,910,000	
	合計				13,910,000	算出数量 1.000 各単位
	単価				13,910,000	
	*** S単 - 18号 ***					
S63005	計画準備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費内業) 2.00人,3.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数 5)補助員の人数 6)操縦士の人数 7)整備士の人数 8)撮影士の人数 9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	2.00人 3.00人 3.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04022	測量主任技師	2.000	人	61,000	122,000	
R04023	測量技師	3.000	人	52,700	158,100	
R04024	測量技師補	3.000	人	41,300	123,900	
	合計				404,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		404,000	
	*** S単 - 19号 ***					
S63008	移動に伴う基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人,12.00人,24.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0			深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	諫早湾水質自動観測データ管理他業務					
業務別業務名: 諫早湾水質自動観測データ管理業務【現地調査】						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単 - 1号 ***					
T00001	自動昇降装置の検証データ等の取得及び維持管理		回		1,000	歩A 当たり算出
S02115	諫早湾 測量技師	2.100	人	52,700	110,670	S単 12号
S02115	測量技師補	4.200	人	41,300	173,460	S単 13号
Y00004	雑品	0.020		284,130	5,683	
	合計				289,813	算出数量 1.000 回
	単価		回		289,813	
	*** T単 - 2号 ***					
T00002	自動昇降装置の検証データ等の取得及び維持管理		回		1,000	歩A 当たり算出
S02115	調整池 測量技師	0.700	人	52,700	36,890	S単 12号
S02115	測量技師補	1.400	人	41,300	57,820	S単 13号
Y00004	雑品	0.020		94,710	1,894	
	合計				96,604	算出数量 1.000 回
	単価		回		96,604	
	*** T単 - 3号 ***					
T00003	用船使用料(海域)		回		1,000	歩A 当たり算出
P34006	重油 A重油 海上 硫黄分0.5%以下 バ-ジ	30.000	L	110.20	3,306	
S02115	高級船員	1.200	人	34,800	41,760	S単 14号
S02111	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT	1.000	日	3,210	3,210	S単 1号
S02111	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT	1.650	日	3,360	5,544	S単 2号
	合計				53,820	算出数量 1.000 回
	単価		回		53,820	
	*** T単 - 4号 ***					
T00004	用船使用料(調整池)		回		1,000	歩A 当たり算出
P34006	重油 A重油 海上 硫黄分0.5%以下 バ-ジ	13.000	L	110.20	1,433	
S02115	高級船員	1.200	人	34,800	41,760	S単 14号
S02111	交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT	1.000	日	2,520	2,520	S単 3号
S02111	交通船[鋼製] D 30PS型 3.0GT	1.650	日	2,590	4,274	S単 4号
	合計				49,987	算出数量 1.000 回
	単価		回		49,987	
	*** T単 - 5号 ***					
T00006	ライトバン【二輪駆動】		日		1,000	歩A 当たり算出
S02111	乗車定員5名 排気量1.5L 1時間 ライトバン【ガソリンエンジン 二輪駆動】	1.000	日	1,450	1,450	S単 10号
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	2.700	L	147	397	

令和8年度

諫早湾水質自動観測データ管理他業務

特別仕様書

農林水産省 九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条 令和8年度諫早湾水質自動観測データ管理他業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「設計業務共通仕様書」という。）及び「測量業務共通仕様書」（以下「測量業務共通仕様書」及び「施設機械工事等共通仕様書」（以下「施設機械工事等共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1-2条 本業務は、諫早湾及び諫早湾干拓調整池に設置した水質観測のための自動昇降装置のデータ整理及び維持管理及び気象観測装置及び水質観測施設の保守点検を実施するものである。

(場 所)

第1-3条 調査場所は、諫早湾及び諫早湾干拓調整池周辺地域で図-1～図-4に示すとおりである。

(業務概要)

第1-4条 本業務の概要は、次のとおりである。

1. 自動昇降装置の検証データ等の取得	1式
2. 自動昇降装置の測定値のチェック	1式
3. 自動昇降装置の測定値の相関関係整理及び換算	1式
4. 換算値による水質変化の状況整理	1式
5. 自動昇降装置の維持管理	1式
6. 気象観測装置の保守点検	1式
7. 気象観測データ整理	1式
8. 水質観測施設の保守点検	1式

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条 本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格（以下「調査基準価格」という。）を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

1. 審査事項 a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合。
2. 審査事項 d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下

回った場合。

3. その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合。
4. 業務成果品のミス、不備 等。

(一般事項)

第1-6条 業務請負契約書及び設計業務共通仕様書及び測量業務共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業実施のための土地立ち入り等は、設計業務共通仕様書第1-16条によるが、土地の踏み荒らし、立木伐採等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。
2. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めた場合は、速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-7条 管理技術者

1. 管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理部門	農業－農業土木、農業－農業農村工学、農業－農村環境、建設－建設環境、水産－水産資源及び水域環境、水産－水産水域環境、環境－環境保全計画、環境－環境測定、環境－自然環境保全、環境－環境影響評価
	農業部門	農業土木、農業農村工学、農村環境
	建設部門	建設環境
	水産部門	水産資源及び水域環境、水産水域環境
	環境部門	環境保全計画、環境測定、自然環境保全、環境影響評価
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木部門	
	建設環境部門	
	水産土木部門	

2. 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あ

るいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1-8条 担当技術者は、設計業務共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-9条 設計業務共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び設計業務共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-10条 受注者は、設計業務共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(作業条件)

第2-1条 本業務における現場条件は、次のとおりとする。

1. 第三者に対する処置

(1) 環境保全

- 1) 受注者は、作業船等から発生した廃油等については、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(昭和45年法律第136号)(以下「海洋汚染防止法」という。)に基づき、適切な措置を講じるものとする。
- 2) 受注者は、水中に調査機材等が落下しないように措置を講じるものとする。なお、水中への落下物が発生した場合は、速やかに監督職員に報告するものとし、受注者の責任において回収等を行うものとする。

(2) 保安対策

調査に当たっては、海上衝突予防法(昭和52年法律第62号)、航路標識法(昭和24年法律第99号)、港湾法(昭和25年法律第218号)、港則法(昭和23年法律第174号)、海洋汚染防止法、船舶安全法(昭和8年法律11号)等に留意し実施すること。

2. 関係機関との調整

- (1) 本業務の実施に当たっては当該関係漁連等と十分な連絡調整を図りつつ実施するものとし、トラブル等が発生した場合は速やかに監督職員に連絡し指示を受けるものとする。
- (2) 作業の実施に当たって必要な手続は、受注者において実施するものとする。なお、海上作業の着手に当たっては、関係官公庁へ作業届けを提出するものとする。

(貸与資料)

第2-2条 貸与資料は、次のとおりである。

分 類	資 料 名	数 量
完成図書	令和2年度 防災情報ネットワーク事業 諫早湾地区水質観測施設製作据付工事	1式
報告書	令和4年度 諫早湾水質自動観測データ管理業務	1式
報告書	令和4年度 水質観測施設保守点検業務	1式
報告書	令和5年度 諫早湾水質自動観測データ管理業務	1式
報告書	令和5年度 水質観測施設保守点検業務	1式
報告書	令和6年度 諫早湾水質自動観測データ管理業務	1式
報告書	令和6年度 水質観測施設保守点検業務	1式
報告書	令和7年度 諫早湾水質自動観測データ管理業務	1式
報告書	令和7年度 水質観測施設保守点検業務	1式

(貸与資料の取扱い)

第2-3条 第2-2条に示す貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 貸与資料は、原則として複写転載を禁ずるとともに、その取扱いは十分注意し、他に使用や公表又は貸与してはならない。
2. 貸与資料の記載事項に、相互に矛盾がある場合又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は原則として、初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

(貸与機材)

第2-4条 貸与機材は以下のとおりである。

項 目	内 容	数 量	保管場所
多項目水質計	シリアルナンバー (SNo. 0506)	1式	管理棟
多項目水質計	シリアルナンバー (SNo. 0510)	1式	管理棟
多項目水質計	シリアルナンバー (SNo. 0512)	1式	管理棟
多項目水質計	シリアルナンバー (SNo. 0516)	1式	管理棟
接続用水中ケーブル	多項目水質計用 (30m)	6本	管理棟
センサー校正器具	pHセンサー, Doセンサー校正 (端末含)	1式	管理棟

(関連業務)

第2-5条 本業務と関連する業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた調査成果としなければならない。

番号	業 務 名	実施予定期間
1	令和8年度 環境調査結果とりまとめ業務	R8年4月～R9年3月
2	令和8年度 諫早湾地域水質調査その他業務	R8年4月～R9年3月

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次のとおりとする。

作 業 項 目	数 量
1. 計画準備	1式
2. 自動昇降装置の検証データ等の取得	1式
3. 自動昇降装置の測定値のチェック	1式
4. 自動昇降装置の測定値の相関関係整理及び換算	1式
5. 換算値による水質変化の状況整理	1式
6. 自動昇降装置の維持管理	1式
7. 気象観測装置の保守点検	1式
8. 気象観測データ整理	1式
9. 水質観測施設の保守点検	1式
10. 報告書作成	1式

(作業内容等)

第3-2条 本業務における作業内容等については、次のとおりとする。

1. 計画準備

業務の遂行に必要な資料の収集及び貸与資料の内容を把握し、計画準備を行う。

2. 自動昇降装置の検証データ等の取得

自動昇降装置の検証データ等の取得として、多項目水質計を用いた同時鉛直観測及び採水分析を行う。

なお、検証データ等の取得は原則として潮位(水位)変動の少ない小潮期に実施するものとする。

(1) 同時鉛直観測

同時鉛直観測は、自動昇降装置の観測(毎正時)に合わせて多項目水質計を用いた鉛直観測を行う。なお、多項目水質計の測定項目及び機器仕様等は次のとおりとする。

測定項目	機器仕様		備考
	測定範囲	測定精度	

深度	0～50m	±0.3%FS	
水温	-3～40℃	±0.01℃	
電気伝導度	0.5～70ms/cm	±0.01ms/cm	
濁度	0～1000FTU	±2%	
DO	0～200%	±2% FS	
クロロフィル蛍光強度	0～400ppb	±1%	
pH	0～14pH	±0.2pH	

※機器仕様については、同等品及びそれ以上とする。

(2) 採水分析

①採水分析は、自動昇降装置の観測（毎正時）に合わせて下表に示す各地点の採水層において分析試料の採水を行い、別表－1に示す分析項目の分析を行うものとする。

	調査地点	想定水深(m)	採水層					採水層数
			水面下			底上		
			0.5m	1/2水深	5.0m	0.5m	1.0m	
諫早湾海域	S1	5	○	○	—	—	○	3
	S6	5.3	○	○	—	—	○	3
	B3	9.6	○	○	—	—	○	3
	B4	9.5	○	○	—	—	○	3
	B5	14.7	○	—	○	—	○	3
	B6	16	○	—	○	—	○	3
	計							18
調整池	B1	1.8	○	—	—	○	—	2
	B2	1.9	○	—	—	○	—	2
	計							4

○：採水層（分析）

②植物プランクトンの採水は、表層（水面下0.5m）のみとするが、同時鉛直観測においてクロロフィル蛍光強度の極大層（表層のクロロフィル蛍光強度の2倍以上の高い値）が見られた場合には、表層に代えてその極大層で採水を行うものとする。

③採水試料はバケツに一度貯めたのち、多項目水質計と自動昇降装置のセンサーでそれぞれ濁度、DO及びクロロフィル蛍光強度の測定を行った後、分析用の試料容器に分取する。

3. 自動昇降装置の測定値のチェック

(1) 同時鉛直観測データと採水分析の結果（DO, SS, クロフィルa）を用い自動昇降装置の測定値（毎正時値）に対し、波浪の影響や機械の誤作動、及びセンサーの感度不良等による異常値や未計測を抽出する。なお、異常値判断としては発注者が提供する排水門の排水実績、及び気象観測データ（湯江や気象庁）も参考としチェック整理する。

(2) 測定値のチェックは、令和8年1月から令和8年12月までの12か月を対象として月毎にチェックを行い、異常値除去後の一次確定値として整理し、各月の経時変化図を作成する。

4. 自動昇降装置の測定値の相関関係整理及び換算

一次確定値を用いた相関関係の整理を行い、換算式を算定する。

整理期間は令和8年1月から令和8年12月までの12か月を予定しているが、詳細については監督職員と協議するものとする。

(1) 濁度、DO、及びクロロフィル蛍光強度については、検証データ取得時の採水分析結果、及び関連業務2で実施する調整池及び海域の水質分析結果との相関関係を整理する。なお、相関関係の整理については各採水日に自動昇降装置で使用している測定機器のシリアルナンバーにて整理を行うものとする。

(2) 検証データ取得時に行う植物プランクトン及びフェオ色素の水質分析結果より、クロロフィルaの季節特性等について検討を行い、関係性が異なる時期別(季節別、年間など)でクロロフィルaの整理を行う。

(3) 上記(1)で整理した相関関係に基づき換算式を算出し、自動昇降装置の測定値から水質分析値(濁度からSS、DOからDO分析値、クロロフィル蛍光強度からクロロフィルa)に換算するものとする。

5. 換算値による水質変化の状況整理

換算後の値を一覧表に整理し、排水門の排水量や風向・風速、降水量などの気象データと併せて水質変化を確認するための経時変化図を作成する。また、多層の水質変化を把握するために鉛直時系列図等を作成するものとする。なお、これらの整理結果を元に、気象データを踏まえた水質変化の特徴を月毎で整理する。整理期間は令和8年1月から令和8年12月までの12か月を対象とする。

6. 自動昇降装置の維持管理

自動昇降装置が正常な観測を持続できるように自動昇降装置の検証データ取得時に別表-1の維持管理を行うものとし、作業の際に装置の異常が確認された場合は、速やかに監督職員に報告するものとする。

pHセンサーとDOセンサーの校正には、監督職員より貸与する専用端末を使用し、現地にて測定値の校正を行うものとする。なお、pHの標準液(pH6.86及びpH9.18)及びDO校正に必要な薬品等(亜硫酸ナトリウム、バブリング機器)は受注者にて手配するものとする。

7. 気象観測装置の保守点検

(1) 気象観測装置の諸元

観測場所、観測要素は次のとおり。

観測場所	観測要素	観測機器	住所	備考	
湯江観測所	温湿度 雨量 風向風速	池田計器 池田計器 池田計器	HM-155DP RE05 KS-70E1	諫早市高来町里名字恩崎21-4	

(2) 保守点検及びデータ回収

毎月1回、観測所の観測機器について点検を行い、観測データの回収を行う。
なお、点検結果は点検簿に記録する。

観測機器（温湿度計）の点検については、基準温度計との比較試験を行い、±0.4℃以上の差を生じた場合には、観測値を補正する。また、記録機の故障がないか等の点検を行い、記録精度の向上に努めるものとする。

8. 気象観測データ整理

(1) データ整理及び観測月表の作成

湯江気象観測所から回収したデータについて、異常データの有無等を確認し、確定データを整理し、観測月表を作成する。月表は当月分を翌月上旬までに電子データで発注者に電子メール等にて提出するものとする。

なお、データ整理等の期間は令和8年3月～令和9年2月までとする。

9. 水質観測施設の保守点検

(1) 作業項目及び数量

作業項目及び数量は別表-2「水質観測施設の保守点検 数量表」のとおりとする。

(2) 点検機器

各多項目水質計及び地点の点検対象施設は、下表に示すとおりである。

自動昇降用多項目水質計：JFEアドバンテック製（型式：AAQ RINKO）

保安灯：（株）ゼニライトブイ製（型式：ZL-LS12A-Y1-L）

1) 多項目水質計工場点検

多項目水質計 シリアルナンバー	点検対象 多項目水質計	設置場所及び保管場所
SNo. 0504	○	S 1
SNo. 0506		管理棟
SNo. 0507	○	B 5
SNo. 0508		B 3
SNo. 0509	○	B 1
SNo. 0510		管理棟
SNo. 0511	○	B 2
SNo. 0512		管理棟
SNo. 0513	○	S 6
SNo. 0514	○	B 6
SNo. 0515		B 4

SNo. 0516	管理棟
-----------	-----

※○：工場点検対象多項目水質計

多項目水質計の設置場所及び保管場所については、上表のとおり想定しているが、位置の変更等もあり得ることより、この場合は変更の対象とする。

なお、多項目水質計の工場点検については、同時期での実施は2台以内とし、代替器に不足が生じないように実施しなければならない。

2) 自動昇降型水質測定装置、保安灯の保守点検及び蓄電池の交換

地 点	保守点検		蓄電池（交換）	
	自動昇降型 水質測定 装置	保安灯	自動昇降型 水質測定装置	保安灯
B 1	○	○	○	—
B 2	○	○	○	—
B 3		○		—
B 4		○		—
B 5	○	○	○	—
B 6	○	○	○	—
S 1		○		—
S 6		○		—

※○：保守点検対象機器、蓄電池交換地点

自動昇降型水質測定装置の保守点検については、管理棟に保管している多項目水質計の工場点検完了後に行うことを想定しているが、詳細な時期については初回打合せ時に監督職員と協議するものとする。

(3) 保守点検の実施内容等

保守点検の実施内容及び留意する点は次のとおりとする。

- 1) 各対象施設の保守点検内容の詳細については下記のとおりとし、施設の詳細については別添図面のとおりとする。

①多項目水質計工場点検

イ. 観測槽に設置している本機器を工場へ搬出する際は、第2～4条に示す貸与機材より代替の多項目水質計に交換し、水質観測の長期欠測が生じないようにしなければならない。

ロ. 同時期に行う工場点検は2台以内とする。

ハ. 工場点検後の多項目水質計の返却場所は従前と異なることから、工場への搬出及び返却計画について監督職員と協議するものとする。

ニ. 工場において下記 a～e の作業を行い、正常に機能することを確認する。

a. 各センサー（水温・塩分（CT）、深度、クロロフィル・濁度（Chl/Tu）、DO、pH）の検定検査

b. 分解清掃、部品交換の有無の確認

c. 破損等ないか目視による外観確認

d. 着底検知の出力と動作の確認

e. 交換部品は下表の通りとするが、bにおいて部品交換が必要な場合

は監督職員と協議するものとする。

なお、交換前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

材 料 名	仕様又は規格	数 量	備 考
多項目水質計用 pHセンサー	ガラス電極式 測定範囲：0～14pH 測定精度：±0.2pH	6 個	
無停電電源装置(UPS) 管理棟（データ監視局）	出力容量 500VA 350W 電池寿命 5 年	1 個	

2) 自動昇降型水質測定装置保守点検

観測櫓において下記の作業を行い、正常に機能することを確認する。なお、作業時の水質観測については長期欠測が生じないようにしなければならない。

① ウインチ昇降装置

- イ. 各部分解清掃作業
- ロ. 部品交換の有無の確認
- ハ. 多項目水質計接続用水中信号ケーブルの点検

② 自動保管装置

- イ. 部品交換の有無の確認
- ロ. バケットの生物付着防止塗料（防汚塗料）の再塗布
- ハ. 給水タンクの点検・清掃

③ データ制御装置

- イ. 時計誤差の点検
- ロ. 計測制御の動作点検
- ハ. 電源電圧・電流値の測定

④ 昇降用施設架台

- イ. リミットスイッチの点検・清掃

⑤ 自動昇降用シーブ

- イ. 部品交換の有無の確認

⑥ その他の施設

- イ. 太陽電池パネル及び太陽電池回路の点検・清掃
- ロ. LTE通信装置及びアンテナ（取付状態を含む）の点検

⑦ 装置の動作確認

保守点検完了後、下記イ～ロの項目について確認する。

イ. 動作確認

施設の自動運転を実施し、正常に動作することを確認する。

ロ. 現地観測値と通信データ照合

任意の1層の水深における全項目の現地観測値とデータ監視局の受信データを比較し、正しく表示できていることを確認する。

3) 保安灯の保守点検

観測櫓において下記①～④の作業を行い、正常に機能することを確認する。

なお、保安灯の点検時期については2月頃を想定しているが、詳細な時期については初回打合せ時に監督職員と協議するものとする。

- ① 部品交換の有無の確認
- ② 変形・破損等の外観確認・清掃
- ③ 点灯の動作点検
- ④ 保安灯蓄電池の電圧確認

4) 蓄電池の交換

蓄電池の交換については下表の通り想定している。交換作業については自動昇降型水質測定装置用は上記2)の作業を行う際に同時に実施するものとする。

なお、交換前に見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

材 料 名	仕様又は規格	数量	備 考
蓄電池（自動昇降型水質測定装置用）	容量：DC12V, 65AH	4 個	

5) 臨時保守点検

観測櫓の観測測定装置に欠測等発生した場合は、監督職員の指示により臨時保守点検を行うものとする。

- ① 点検作業については、欠測発生理由の確認のため自動昇降型水質測定装置の各種センサー、ウインチ昇降装置、自動保管装置、データ制御装置等の点検を行い欠測理由の原因究明を行うものとする。

なお、臨時保守点検については、下表のとおり想定している。

潜水作業の有無	臨時点検回数	備考
無し	5 回	海域
無し	2 回	調整池
有り	2 回	海域

- ② 欠測等の原因によっては、原因を解消するために必要な措置を変更追加する場合がある。

10. 報告書作成

成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。

(作業の留意点)

第3-3条 作業の留意点

設計業務共通仕様書第1-1-1条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-4条 業務写真における黒板情報の電子化

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1. 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2. 機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3. 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4. 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5. 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条 設計業務共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

初 回 : 作業着手前の段階

第2回 : 測定値の換算式算出段階

最終回 : 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度その内容について、監督職員と

相互に確認するものとする。

打ち合わせ方法については、対面方式からW e b方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。その際、管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条 成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体(CD-R若しくはDVD-R) 正副2部
2. 成果物の出力 1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(開示用成果物の作成及び提出)

第5-2条 第5-1条に記載している成果物(PDFファイル)に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

1. 開示用成果物の電子媒体(CD-R若しくはDVD-R) 1部

(成果物の提出先)

第5-3条 成果物の提出先は、次のとおりである。

長崎県諫早市高来町金崎字浜ノ道149-6
九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 環境調整課

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による主な協議事項は次のとおりとする。

1. 第3章に示す「作業内容」に変更が生じた場合
2. 第4章に示す「打合せ」に変更が生じた場合
3. 第5章に示す「成果物」に変更が生じた場合
4. 履行期間の変更が生じた場合
5. 関係者協議等対外的協議により業務計画等に変更が生じた場合
6. その他

(業務スライドの試行)

第6-2条

1. 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて(試行)」(令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知)(URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」)に基づく試行業務である。
2. 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不相当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
3. 発注者又は受注者は、2の規定による請求があったときは、変動前残業務費(業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。)と変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
4. 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
5. 2の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、2中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。
6. 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、2~5の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。
7. 6の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
8. 4及び7の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。ただし、発注者が2、6の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。
9. 業務スライドの試行に係る運用については、1に記載の通知に基づくものとする。

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

- 第7-1条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別表-1

各作業地点での作業項目及び作業頻度等

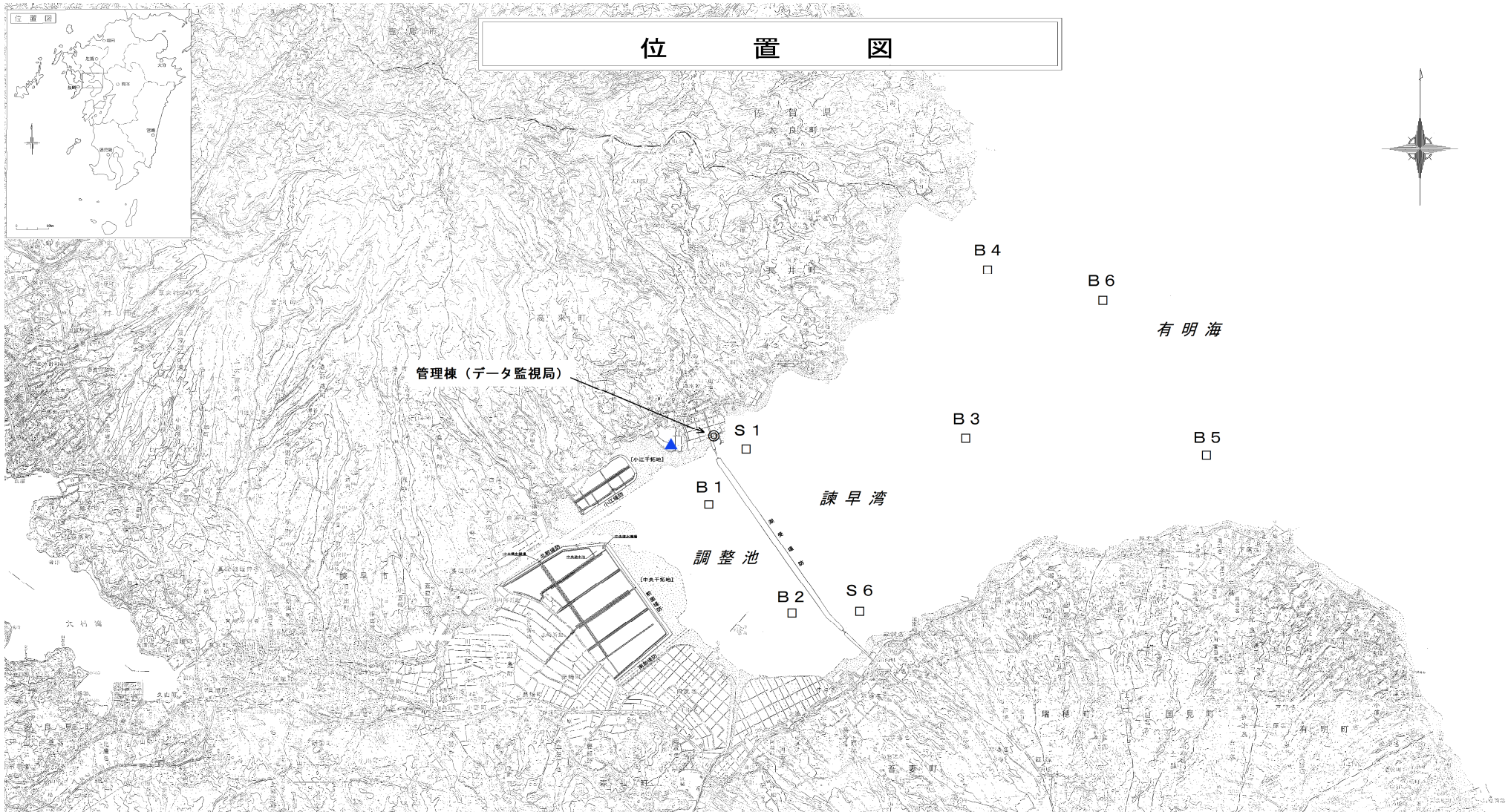
項目	作業頻度	作業期間	対象地点及び採水層数 (○：対象地点、数字：採水層数)										数量						
			諫早湾						調整池		湯江								
			S1	S6	B3	B4	B5	B6	B1	B2									
1. 自動昇降装置の検証データの取得等及び自動昇降装置の維持管理																			
採水分析			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
濁度	1回/月	4月～3月	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	—	22 層×	1 回/月×	12 月=	264 検体		
浮遊物質(SS)	環境庁告示第59号付表9	1回/月	4月～3月	3	3	3	3	3	3	3	2	2	—	22 層×	1 回/月×	12 月=	264 検体		
溶存酸素量(DO)	JIS K 0102 32.1	1回/月	4月～3月	3	3	3	3	3	3	3	2	2	—	22 層×	1 回/月×	12 月=	264 検体		
クロロフィルa	海洋観測指針 6.3.3(蛍光法)	1回/月	4月～3月	3	3	3	3	3	3	3	2	2	—	22 層×	1 回/月×	12 月=	264 検体		
フェオ色素	海洋観測指針 6.3.3(蛍光法)	1回/月	4月～3月	3	3	3	3	3	3	3	2	2	—	22 層×	1 回/月×	12 月=	264 検体		
植物プランクトン解析	種の同定,個体数の計数,湿重量の計測	1回/月	4月～3月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	8 層×	1 回/月×	12 月=	96 検体		
多項目水質計鉛直観測(水温、塩分、濁度、DO、クロロフィル蛍光強度、pH、深度)	1回/月	4月～3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	8 地点×	1 回/月×	12 月=	96 回		
維持管理																			
・ガイドワイヤーの付着物清掃	1回/月	4月～3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	8 地点×	1 回/月×	12 月=	96 回		
・洗浄用バケツの清掃点検	1回/月	4月～3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	8 地点×	1 回/月×	12 月=	96 回		
・自動洗浄用の水(120ℓ/箇所)補給	1回/月	4月～3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	8 地点×	1 回/月×	12 月=	96 回		
・シャフト及びローラー部等ヘグリース塗布	1回/月	4月～3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	8 地点×	1 回/月×	12 月=	96 回		
・pHセンサー及びDOセンサーの校正	1回/月	4月～3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	8 地点×	1 回/月×	12 月=	96 回		
2. 気象観測装置の保守点検																			
気象観測装置の保守点検	1回/月	4月～3月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	1 地点×	1 回/月×	12 月=	12 回		

令和8年度
諫早湾水質自動観測データ管理他業務

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備 考
1	位 置 図	1	
2	観測施設システム構成図（参考図）	1	
3	自動昇降型水質測定装置構成図（参考図）	2	
4	保安灯外観図（参考図）	1	
計		5	

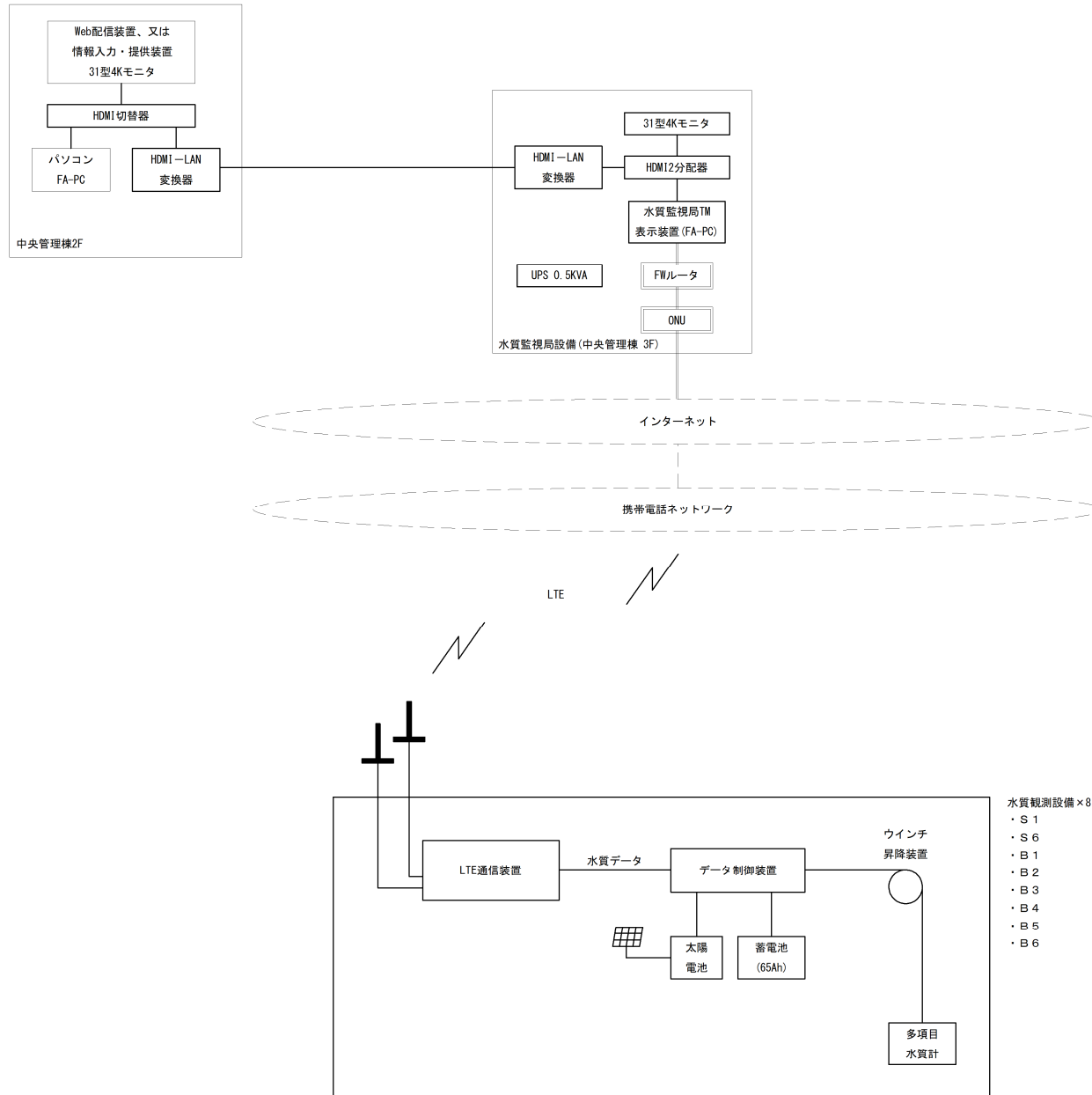
位 置 図



- 自動昇降装置
- ▲ 気象観測装置

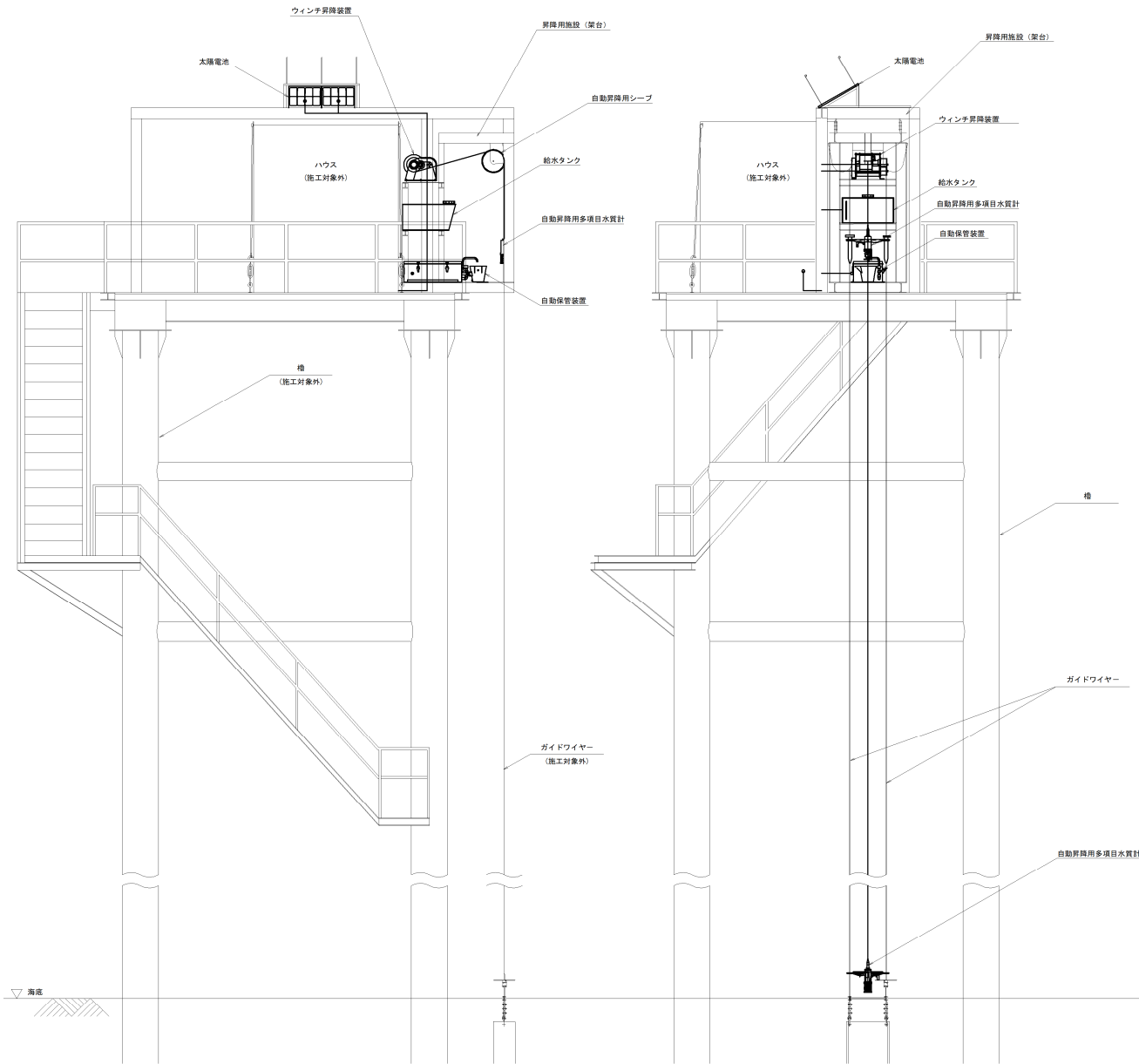
業務名	令和8年度 諫早湾水質自動観測 データ管理他業務
図面名	位置図
図面番号	図-1

システム構成図 (参考図)



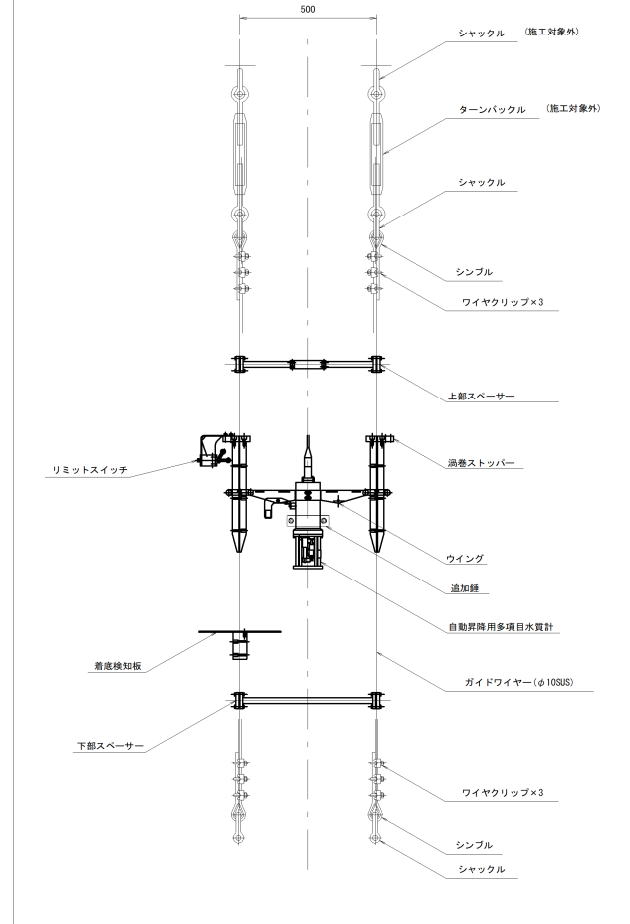
	令和8年度 諫早湾水質自動観測 データ管理他業務
図面名	観測施設システム構成図 (参考図)
図面番号	図-2

自動昇降型水質測定装置構成図（参考図）



ガイドワイヤー 詳細図

S=1/10

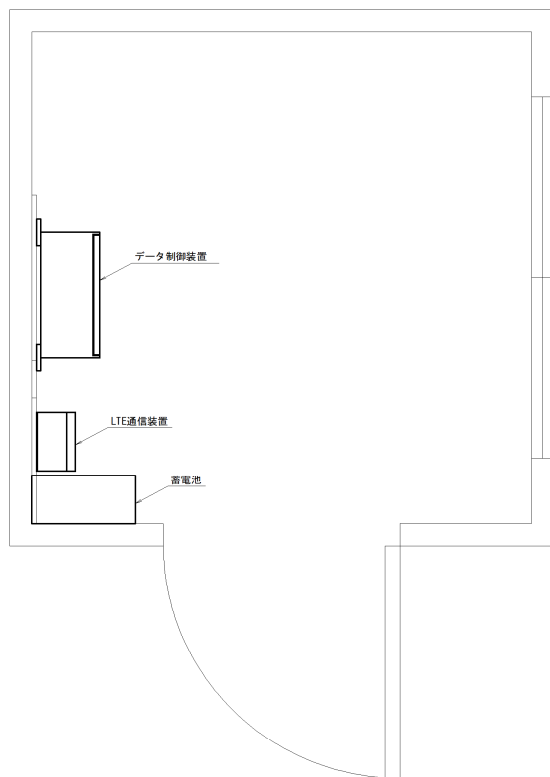


業務名	令和8年度 諫早湾水質自動観測データ管理他業務
図面名	自動昇降型水質測定装置構成図（参考図）
図面番号	図-3-1

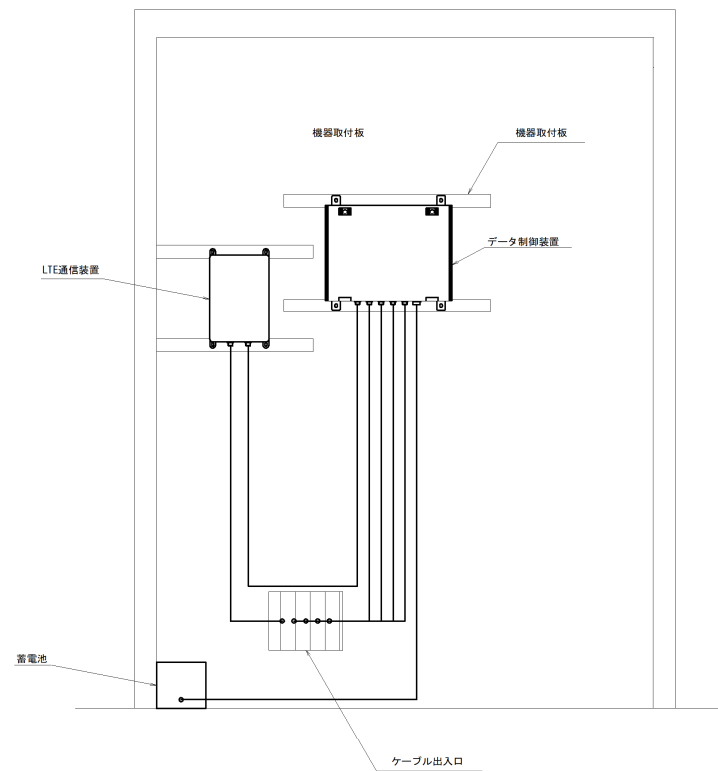
自動昇降型水質測定装置構成図（参考図）

S-1/10

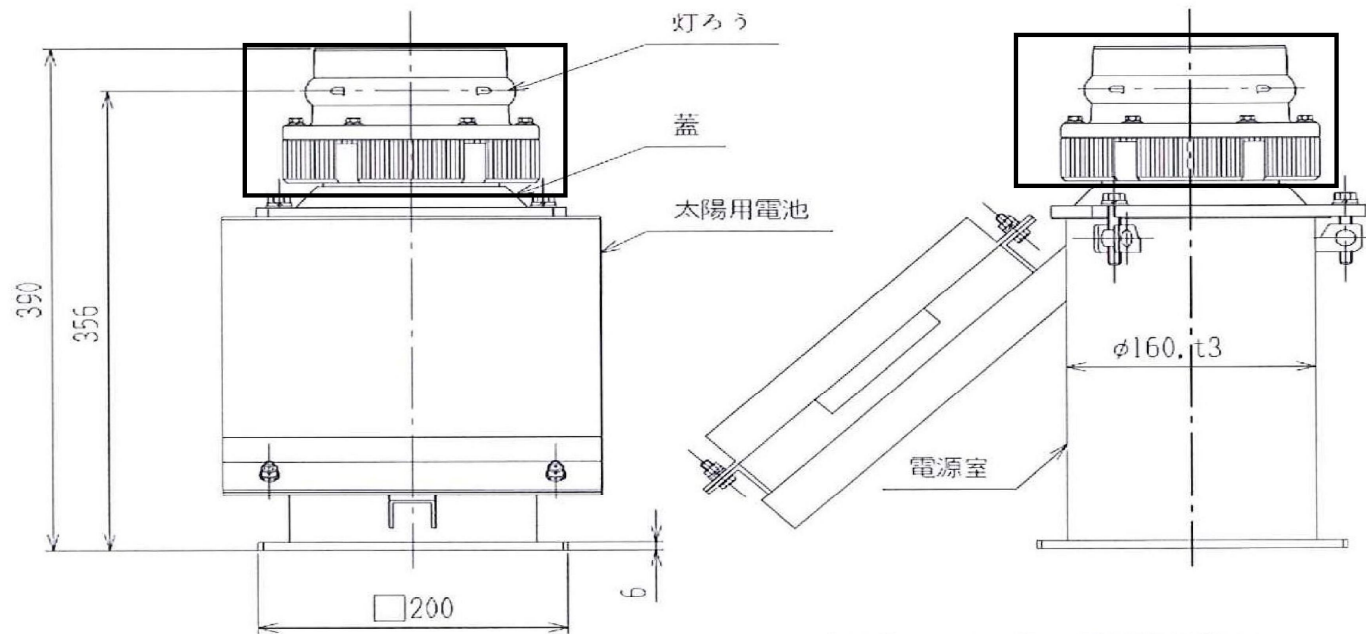
平面図



立面図



業務名	令和8年度 諫早湾水質自動観測 データ管理他業務
図面名	自動昇降型水質測定装置構成図（参考図）
図面番号	図-3-2



全質量 : 約 4kg (電源装置除く)
 主要材質 : アルミニウム合金

業務名	令和8年度 諫早湾水質自動観測 データ管理他業務
図面名	保安灯外觀図 (参考図)
図面番号	図-4